

パブリック・コメントの結果

1 募集対象計画等

米沢市新文化複合施設（図書館・市民ギャラリー）整備事業基本構想案

2 募集期間

平成23年8月1日（月）～平成23年8月31日（水）

3 意見の提出者数及び件数

提出者5名／提出件数10件

4 意見の内容及び意見に対する回答

次ページ以降に記載しています。

意見の内容及び意見に対する回答

意見 1	
<p>”新市民ギャラリーの天井の高さは、4.5mくらいとする。”べきだと思います。 「空間もまた芸術である。」ことを忘れてはいけないと思います。鑑賞者も展示空間の作品の一部と見ることが出来ます。天井の低さは、鑑賞空間として魅力がないばかりか、絵画・映像作品の良さを引き出せません。市民の展示の都合は、取り付けレールの位置を数段階用意し、位置を下げて埋め込みをする。照明の取り付けは可動式の美術ボタンを使う。などの対策があるのではないのでしょうか。</p> <p>芸術性を感じる展示空間に見合った(負けない)作品を創ることが、芸術性を高めるモチベーションになると思います。</p>	
意見に対する回答・考え方	
<p>新市民ギャラリー整備検討委員会の検討結果に基づき、安全性や様々な市民の芸術の発表の形態等を考慮して展示室の天井の高さを3.3m程度とした所がありますので、御理解くださいますよう、お願いいたします。</p>	
修正の有無	無

意見 2	
<p>一番大事なことは、多大な予算(税金)を使う事業として出来たものがいかに活用し易く、市民の為になるかということだと思います。三点上げさせていただきます。</p> <p>イ これからは情報のデジタル化がますます進むと思われまますので、米沢の文化施設及び関係機関の共通情報センターとして機能させる。</p> <p>ロ 運用に当たっては、常に「市民の声」を吸い上げることができる体制</p> <p>ハ 市民文化生活の拠点にすべく、「交通の便」や上杉公園等との有機的な結びつけを考慮する。</p>	
意見に対する回答・考え方	
<p>御意見を頂きました点については、御意見のとおり以下のように考えておりますので、御理解くださいますよう、お願いいたします。</p> <p>イ 郷土に関する情報発信を図書館の最も重要な機能の一つとして位置付けており、市民や行政・議会等に多様に活かされる取組を進めることとしています。また、他の文化施設を始め、関係機関等との連携を図っていくこととしております。</p> <p>ロ 図書館、市民ギャラリーともに、市民が運営に関与する仕組みづくりを行うこととしております。</p> <p>ハ 中心市街地に人々が集い、行きかう活気あるまちとするため、新設される図書館はもとより、文化会館や伝国の杜との相乗効果を図った事業の展開や、歴史と文化のまちにふさわしい文化ゾーンとして周辺施設等との連携を図ることとしています。</p> <p>なお、交通の便の確保については、米沢市中心市街地活性化基本計画に基づき、新たに南回りの市街地循環バスを運行するなど、利便性の確保を図っていくこととしています。</p>	
修正の有無	無

意見 3

交流スペース・ラウンジについて、私たちが望んでいる空間は、好きなテーブルに腰をおろし知らない人間と人間の中で、おもむろに自分の自信のない趣味(あるいは自信のある趣味)をカバンから取り出し、はずかしそうに(最初は)やり始めるでしょう。静かな交流から始まり、同じテーブルに腰かけた者同士、自分のやりたいことについてわからない事を聞いたり、知っている事を話したり世間話をしたり・・・いろんな会話の中から「人間としての質を高め合うことができる活発な交流」にまで発展させていくことです。たとえば、「お習字をやってみたい」と思っても、教室に習いに行くとなるとなかなかできないのです。しかし、このような柔軟性(行きたい時に行ける)のある「学び」の空間があったら、若い人でも老人でもちょっと足を運ぶだけで「やってみたい事」に一步踏み出せるのではないかとおもうのです。家の中で一人で編み物をするより、この空間に行って自分より知識のある人の編み方を吸収し自分のものにする。また、わからない所がある人には「こうすればうまく編めるよ」なんて自然の会話の中でお互いに高め合うことができると思うのです。オープンスペースにテーブルとイスを用意してくださるだけで夢は叶うのです。(はしっこに、ちょっとしたお茶コーナーがあると幸せです。)

女性だったら、「今日は料理のレシピのテーブルに行こう」、もっとおいしい作り方を聞きたい、「今日は編み物のテーブルに行こう」、何か一つ完成するまで続けよう。

若いお母さんだったら、「今日は年寄りの話を聞きに行こう」、子育てで困っていることを話したい、何気ない話の中にヒントがあるかもしれない。

男性だったら、「今日は園芸のテーブルに行こう」、わからないところがあるから聞いてみよう、「今日は囲碁のテーブルに行こう」、ちょっと力だめし。

学生だったら、図書館に行った帰り「ちょっと寄り道していこう」、いろんな年齢の人たちと気軽に話をする。そして、その中から自分の家族とは違う人間の良い所、悪い所、優しさ、ちょっとした常識、昔の話(家族だったら素直に聞けない話でも、他人からだったら聞けるかもしれない)など、いろんな事を感じ知ることができるかもしれない。

いろんな趣味、知識、アイデアを持っている方が大勢いらっしゃるはずです。米沢には「人知れず・・・」そういう人が多くいるのです。そういう人たちから「教わる」とか「教える」とかではなく「自ら何かを学びとる」という形で交流を深め柔軟な人間関係を創り上げていくことだと思ふのです。

私たちは、陰ながら広報活動をしていきたいと思っています。声を出し続けます。いろんな層の人たちが中心市街地を歩きかい、あいさつを交わし、明るい笑顔と笑い声が生れる「活発な人間関係」、そして、自然にお互いに「自分を高め合おうとする積極的な行動」、これこそ「文化の薫るまち」の実現につながるものと確信しています。こんなステキな空間が実現したら「米沢のほこり」です。全国に紹介していきたいと思っています。「文化の町米沢」から「豊かさとやすらぎ共に創り上げるときめき」を発信していけたらうれしいです。

意見に対する回答・考え方

御意見は、今後、新文化複合施設に整備する交流スペース・ラウンジの活用の仕方等を検討する際に参考とさせていただきます。

修正の有無

無

意見 4

古代ギリシャ建築の正面玄関を持った旧図書館の柱礎(イオニア式柱の足元部分)を新図書館に組み込めないか。

児童会館裏に旧図書館の柱礎が放置されています。当初、花壇か植木鉢目的に残されたようですが、現状を見る限り、放置され、朽ちるのを待つだけのような状態です。

旧図書館の古代ギリシャ建築の正面玄関、並びにその景観は今でも印象深く心に残っておりますが、もし残されていれば、その景観的な価値は高く評価されたのではないかと思います。建築的価値においても、おそらく日本最後の様式建築であったと考えられます。また、その設計図からは、本格的かつ大変真面目に設計されたことが解ります。その意匠を何故古代ギリシャ建築に求めたのかの理由は解りませんが、その正面玄関の形体は大英博物館に似ており、『米沢図書館 100 年』によれば「文化の殿堂に相応しいモダンな外観を現した。」とあります。さらに、正面のレリーフ中央像について「音楽・文芸を司るギリシャ神話の女神・ミューズ」と記載されています。これらのことから、当時の米沢では「文化の殿堂」としての図書館建設に対する高い意気込みがあり、その結果を古代ギリシャ建築に求めたものと推測されます。なお、提案にある柱礎について触れておけば、その形状は「アッティカ風イオニア式柱礎」に分類できるものではないかと思います。

提案は、新図書館の機能や建物全体のデザインに影響しない形で、かつて米沢には古代ギリシャ建築の正面玄関を持つ図書館が存在したのだという記憶を形として残すため、その遺構の柱礎を新図書館内に組み込めないかというものです。

レリーフは保存されていますが、柱礎は手で触れることにより、より建物のスケール感を体感できるものですし、新図書館建設という絶好の機会に残すような工面をしなければ、市民の思いで深い旧図書館の遺構が、いずれ廃棄されてしまうと考えたのが大きな理由です。

意見に対する回答・考え方

新文化複合施設の設計は、今後行うこととなりますので、御意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。

修正の有無

無

意見 5

託児所を作ってほしい。

・小さい子どもを持つ人が、芸術文化に触れられる機会を作れるとよいと思います。

意見に対する回答・考え方

小さいお子さんを持つ人でも、芸術文化に触れられる環境を作っていくことは必要であると考えておりますが、新文化複合施設利用者のための託児所を作ることは、運営の費用等を考慮すると難しいと考えております。

事業によっては、主催者がボランティア等の協力を得るなど、幼児等を一時預かるなどの仕組みづくりを検討していきたいと考えています。	
修正の有無	無

意見 6	
音楽室（ピアノがある練習室）を作してほしい。 ・練習可能な部屋を作る事により文化会館のリハーサル室としても使用できると思います。また、楽器の練習等が自宅でできない人の為にも作ってほしいです。（私は伝国の杜、すこやかセンターを利用しています）	
意見に対する回答・考え方	
新文化複合施設は、図書館と市民ギャラリーの複合施設として整備する計画ですので、音楽室（ピアノがある練習室）は整備しない予定ですので御理解くださいますよう、お願いいたします。	
修正の有無	無

意見 7	
展示室またはエントランスにピアノを置いてほしい。 ・文化会館の「小ホール」のような扱いで、入場料が有料の催し物も可能にしてほしい。 （例）室内楽、アンサンブル等の小規模な演奏会、プロの演奏家の演奏会 ・展示室で展示会と演奏会を同時に行う事により、さまざまな芸術文化の交流ができると思います。 （例）華道と邦楽：華道の展示と尺八と三味線の演奏、絵画と洋楽：絵画の展示とフルートの演奏、書道と朗読：書道の展示で、詩など書いてあるものを朗読 ＜参考＞米沢市の各施設の座席数 文化会館 1005席 伝国の杜 500席 文化センター 300席 「新施設」 150席 このくらいの規模の会場があるとうれしいです。	
意見に対する回答・考え方	
基本的に、新文化複合施設は、図書館と市民ギャラリーの2つの機能を併せ持つ施設として整備する計画ですので、客席や演奏会等が行える音響機能等を整備することは考えていないところです。 なお、運用等の面で工夫をしながら併設する図書館や他の展示に影響を及ぼさない範囲で「音」による芸術表現を可能にする展示室を整備したいと考えておりますので、御理解くださいますよう、お願いいたします。	
修正の有無	無